

2015年度 上期決算説明会 質疑応答要旨

お断り：この要旨は決算説明会での質疑をご参考として掲載するものであり、一部補足を含め簡潔にまとめさせていただきました。ご了承ください。

記

1. 開催日 : 2015年11月16日(月)
2. 場所 : 本社会議室
3. 質疑応答内容:

<Q1>

廃棄物処理分野に於いて、大規模基幹改良工事への提案活動を強化することだが、2020年度までの次期中期経営計画の期間中に見込んでいる受注件数を教えて欲しい。

<A1>

受注件数についての回答は難しいが、当社が建設した施設のうち、一定期間経過した施設の基幹改良提案を実施していく。他にも当社メニューと技術が合致して、その地域で貢献できるような提案があれば、精力的に行っていきたい。

<Q2>

ベトナムでのエンジニアリング拠点の拡充について、具体的に教えて欲しい。

<A2>

ベトナムの現地法人では、現地スタッフが100名程度となり、現在、日本人スタッフが現地スタッフを指導しながら、設計、調達などのいわゆるエンジニアリング拠点としての基本的な機能を高めている。

<Q3>

ベトナムでの生産拠点の拡充について、具体的に教えて欲しい。

<A3>

ベトナムでの生産拠点であるロンドゥック工場では、播磨製作所で製造しているグラスライニング製機器の部品を製造しているが、機能をより拡大して、完成品を作る製造拠点にできるよう考えている。具体的なスケジュールは決定していないものの、将来的には今とは違うレベルのステージへもっていければと考えている。

<Q4>

ベトナム現地法人の増員計画があるか教えて欲しい。

<A4>

スタッフの増員については、エンジニアリング拠点、並びに生産拠点としての拡大スピードに合わせてということになる。現時点で増員の見通しを申し上げることはできない。

<Q5>

バイオマス利活用については、下関市終末処理場での消化ガス発電事業のような案件が、全国に多数あると聞いているが、今後も入札に参加するのか教えて欲しい。

<A5>

下水処理とエネルギー回収を効率よく進めていくバイオガスの利活用は、今後の大きな流れの1つになる。下水の処理場から発生する消化ガスの活用や、ごみ処理場の廃棄物から発生するメタンガスを使うなど、バイオガスを活用した発電事業には、今後も取り組んでいきたいと考えている。

<Q6>

木質バイオマスでの発電事業に於いて、今後の受注に向けた活動方針について教えて欲しい。

<A6>

木質バイオマス発電事業は、基本的には地域林業の活性化、森林の整備に貢献しながらエネルギーを創り出す事業である。福井での案件は6,000kW級と中規模であるが、2,000kW未満の小規模案件に対しても、さらに固定価格買取制度に於ける優遇制度が採用され、案件の増加が期待できるため、当社に見合った案件があれば、積極的に取り組みたいと考えている。

<Q7>

ユーグレナに対する現在の活動内容として、化粧品・化成品分野への事業化に向けて検討中とあるが、上市する時期を教えて欲しい。

<A7>

パートナー候補の企業様にサンプル提供を行い、評価を頂いている段階であり、具体的な時期についてはご容赦いただきたい。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社の現在把握している情報、及び合理的であると判断する前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以 上